



にしく市民活動支援センター にしとも広場

2024（令和6）年度 事業報告書

管理運営：認定特定非営利活動法人市民セクターよこはま

2024（令和6）年度運営方針と成果

コロナ禍を経て、転換期を迎えた市民活動・地域活動に対応するため、より地域に根差した人と人との顔の見えるつながりづくり、効果的な活動をつなぐ支援を心がけました。積極的に地域活動の現場にアウトリーチし、地域の活動者の生の声を聴き、活動の想いを受け止め、ねらいを理解し、信頼関係を築くことを大切にしたい1年間でした。

2024（令和6）年度は「**地域の活動を見つめ直し、つながりを広げる**」をテーマとして、次の3つに取り組むべき事業の柱として運営しました。

① 1つ目のテーマ、**職員のスキルをアップし、相談・情報発信機能を強化します**

では、職員自身がネットワークの結節点、地域のハブとなることを意識して、日々の運営において、来館者や相談者に丁寧に対応し、対話を重ね、次の来館につながる支援を心がけました。また、職員間のタイムリーな情報共有、職員研修と振り返りを充実し、センターの相談対応および情報の受発信機能を充実させました。

② 2つ目のテーマ、**活動者の生の声を聞き、活動をバージョンアップする機会をつくります**

では、区内の様々な地域活動等の現場に出向き、活動を共体験し、活動への想いやねらいを丁寧に聴き、情報紙やSNS等で発信する等、活動のバージョンアップを支援しました。市民活動団体、地域活動団体・地縁活動団体、区民利用施設等からの相談には丁寧に対応し、適切な情報を提供し、活動団体や活動者をつなげました。職員のアウトリーチやセンターの情報発信、人材ボランティア派遣事業を通して、活動が豊かになるお手伝いをしました。

③ 3つめのテーマ、**新たな活動の担い手の創出と、既存の活動の課題に寄り添う支援を行います**

では、「西区地域づくり大学校」やあらゆる相談・事業等において出会えた、地域の中で新たに活動者となる人材や団体を、既存の地域活動や市民活動に丁寧につなぎました。お互いの強みを生かした活動ができるように、丁寧にコーディネートと伴走支援を行いました。

市民活動・地域活動を見つめ直し、多様なつながりを創出することで、活動・活動者・地域がより元気になる場面に出会う一年でした。来期は今期のつながりを基盤に、区全域をフィールドに、ハブ機能を充実し、アウトリーチによって活動の現場をさらに応援できるセンターを目指します。

1. 相談事業

◆相談のワンストップ化と日頃の会話を相談につなげる

- ・2024（令和6）年度の相談件数は301件（対前年比107.1%）でした。
区民、地域活動者、市民活動者からの相談に加え、アウトリーチにより連携を強化した施設や団体等からも訪問時に相談が入りました。また、区外・市外の施設等からは、地域人材ボランティアの派遣に関する相談が増え、コーディネートにつながりました。
- ・活動団体、地域、個人等からのあらゆる相談に真摯に向き合い、相談者のニーズを引き出し中間支援組織としての視点から提案やエンパワメントができるように、相談しやすい環境を整え、職員の傾聴研修を実施しました。
- ・地域の施設や関係機関と連携を深め、ニーズに即した情報の提供とコーディネートを目指し、相談をワンストップ化できるように、センター内で常に最新の情報の共有を心がけました。利用者とのなにげない会話や登録時のヒアリングから相談につながる糸口を見つけ、必要に応じて、区役所関連部署や関係施設、関連機関等に迅速につなぎました。

1) 相談データベースの活用

- ・昨年度から始めたデータベースによる相談記録を、職員間でタイムリーに共有・検討し、相談履歴を確認しながら継続的に対応し、必要に応じて関係機関や施設・団体等と連携を取りながら、適切な支援を心がけました。
- ・月2回の職員全体会議において、最近の相談対応の中の気になる事例をピックアップし、対応について検討し、今後のよりよい対応につなげました。

2) NPO 相談対応

- ・NPO と任意団体の違いや NPO の運営基礎についての勉強会を横浜市市民協働推進センターと共催で開催し、相談力アップのため、職員も参加しました。NPO 法人設立までのステップについて「団体&NPO 設立 mini ハンドブック」をもとに学びました。市民活動や NPO の基礎知識、社会的意義や心構え、基礎強化につながる中長期ビジョンの必要性などを学び、市民活動団体の自立的で中長期的な活動運営について考えました。当日は参加者どうしの交流を深めることもできました。（9 団体 11 名参加＋関係者 8 名）



3) 相談事業の情報発信

- ・ホームページのリニューアルに向け、相談機能をわかりやすく伝える表現を検討しました。また、アウトリーチや会議等の場において、いつでも相談ができる場であることを伝え、関連施設や区役所職員に周知しました。

4）活動につながる伴走支援

- ・相談をきっかけに、センターが有するあらゆる機能はもちろん、地域活動、地縁団体、区役所、関連機関・施設等につなぎ、多様な視点からのアプローチを共有し、活動のねらいを定め、丁寧な伴走支援を継続しました。

＊伴走支援事例：あすのち、NPO 法人おれんじハウス、NPO 法人食・支援ネット 他

2. 情報提供・発信事業

◆様々な情報提供のツールを使い、定期的、かつ多面的に情報を発信

- ・センターの事業周知と、把握する様々な情報を必要な方に発信するために、従来の情報提供・発信方法を見直し、配架による顔の見えるつながり作りと SNS による新たな情報提供・発信を開始しました。
- ・若い世代、リタイア世代、西区に転入された方々等に向け、Facebook・Instagram・YouTube アカウントから定期的に情報を発信しました。センターの周知と初めての利用、地域人材ボランティアの派遣依頼、地域活動の相談等につなかりました。
- ・区民利用施設等に向け、イベントカレンダーを毎月持参し、先方の担当者と顔の見える信頼関係を構築し、お互いの情報交換を進めました。お互いの事業、施設運営等に関する相談のきっかけにもなりました。（毎月の定例訪問件数：28 施設）
- ・スマートフォンからもアクセスしやすいホームページとデータベースのリニューアルにとりかかりました。（2025 年 7 月完成予定）
- ・地域活動に関する情報のハブとして、区民利用施設連携会議「ゆるとも西」参画施設による自主事業一覧カレンダーを下半期から作成し、施設間で共有しました。お互いの事業を知り、効果的な周知活動や施設運営につなかりました。
- ・ヨコハマ市民まち普請事業により整備された区外の活動をめぐるバスツアーを企画し、区内の活動者、区役所職員、当センター職員が現地見学と意見交換をしました。ツアーの様子は、職員が自らの言葉でレポートを発信しました。

1) 情報紙『にしとも広場』（カラー印刷・冊子）の発行

- ・年 2 回（9 月・3 月発行/各 3,000 部/A4 サイズ 8 ページ）発行しました。
- ・特集記事では、区内のユニークな取組、先進的な取り組みを取材し、活動のきっかけと現在の活動、今後の展望等についてお話を伺いました。
- ・連載コーナーでは、センターを利用する登録団体へのインタビュー取材を実施し、活動について発信する機会を作りました。掲載記事をきっかけに、参加者が増え、団体の活動の活性化につながりました。
- ・発行した情報紙をセンター事業にも活かし、あらゆる場面で掲載施設や団体等を紹介するツールとして活用しています。

第23号：「こんにちは！」「おじゃましてーす！」想いがつながる‘みんなのおうち’

特集：一軒まるごと‘みんなのおうち’

戸建てを活用した地域の居場所「にこにこはうす」「ばあばの家あさだ」

2つの居場所に職員が訪問し、活動者にインタビュー取材を実施しました。

また、現地で開催されている事業も取材しました。

活動現場で生の声を聴き、活動がリアルに伝わる紙面を心掛けました。

登録団体インタビュー：フォトラボ・ルーチェ



第24号：地域に広がる“学びの場”

特集：ともに学ぶボランティア「あすのち」「にしともるーむ」

西区内で活動する「あすのち」の活動現場を訪問したほか、センターにて「あすのち」

の運営者と「にしともるーむ」のボランティアにインタビュー取材を実施しました。

ボランティア活動の考え方、それぞれの活動への想いを伝える記事を作成しました。

登録団体インタビュー：こどものカフェ



2) 月間イベントカレンダーの発行（毎月 900 部/2 色刷り/A4 両面）

- ・「にしとも広場イベントカレンダー」を毎月発行し、自主事業と活動団体による事業等をタイムリーに発信しました。
- ・イベントカレンダーの情報をホームページ・Facebook・Instagram に掲載する他、他のメディア（広報よこはま、タウンニュース等）と併せて情報を発信しました。
- ・区民利用施設や関連施設等に毎月出向いて配架を依頼し（28 施設）、周知を拡げると共に、お互いの信頼関係を構築しました。
- ・毎月の区連会や民児協で配布を依頼し、地域に情報が届く工夫を継続しました。



3) ホームページ・Facebook・Instagram・YouTube からの情報発信

- ・センター主催事業やイベント、登録団体等の活動情報を Facebook と Instagram で発信し、ウェブサイトへ誘導しました。事業開催後の実施報告や、日頃のセンターの様子「今日のにしとも」をアップすることで、センター事業等が身近に感じられる工夫をしました。
- ・今年度 4 月に開設した Instagram のフォロワーは 127 人（2025 年 3 月末現在）、若い世代にセンターを伝えるきっかけになっています。
（Facebook フォロワー数 812 人／2025 年 3 月末現在）
- ・YouTube では、地域人材ボランティアの活動の様子をダイジェスト動画で配信しました。活動の様子を配信することで、今後の依頼やボランティア活動の活性化につながりました。

4) 展示スペースの活用（壁面ギャラリー・小箱ギャラリー）

- ・4/11～5/6 には、西区街の名人・達人登録者のアート分野の活動者がコラボレーションする「壁面こいのぼり」を実施しました。活動者がこいのぼりの骨組みを作成し、来館者一人ひとりが折り紙で兜を折り、うろこに見立てて張り合わせました。（144 個）多くの人々の手によって、一つの作品が出来上がっていく過程を楽しむことができました。

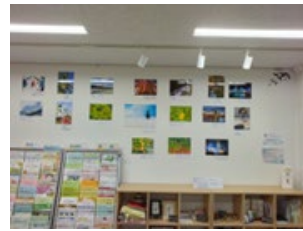
＊タウンニュース・YCV（横浜ケーブルビジョン）の取材が入りました。



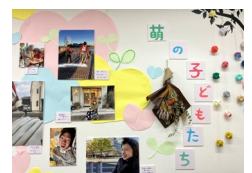
- ・8 月には「西区今昔かるた展」を区民ホールと同時開催し、「西区今昔かるた」を地域に広めました。
- ・11 月には、西区街の名人・達人連携事業として「にしとも広場アート展」を開催しました。



地域人材ボランティア登録のアート分野の活動者（参加アーティスト 13 組）とセンターで活動する登録団体の写真展を同時開催しました。多様な方々に、地域人材ボランティアや写真サークルの活動を、作品をとおして身近に感じていただく機会になったほか、センターの周知につながりました。アンケート回答者へのプレゼントも好評で、168 名からご回答をいただきました。（開催期間 11/1～11/30）アンケートの結果は集計・分析し、次年度の事業や施設の運営につなげました。



- ・2 月には NPO 法人レスパイト・ケアサービス萌の写真展を開催し、西区地域自立支援協議会や SNS 等で開催を周知したことで、多くの方々にご覧いただきました。（開催期間：1/25～2/14）
- ・3 月には、「自治会町内会向け デジタルツール展示・相談会」で配布された資料を展示・紹介しました。ミーティングスペースを定例会の場として利用している町会等に興味を持っていただくきっかけになりました。（開催期間：3/20～4/15）
- ・小箱ギャラリーでは、地域人材ボランティアの作品を展示し、年間を通して、活動を周知しました。実際に手に取って見ることから活動が伝わり、問合せ等につながりました。



5）掲示板での情報発信

- ・にしとも広場の発行するカレンダーやチラシをセンター・区役所掲示版等に掲示し、事業の周知を継続したことで、問合せ・利用申込につながりました。
- ・登録がなくても、だれでも利用できることを周知し、センター、およびミーティングスペースの利用、その後の事業紹介や相談等につながりました。

6）市民利用施設等イベント情報・広報よこはまへの掲載

- ・主催事業を中心に、市民利用施設等イベント情報、広報よこはままで広く区民に周知を継続、効果的に発信しました。参加者アンケートからは、広報よこはまの周知効果を確認しました。

7）区民利用施設・地域団体への情報発信

- ・情報紙や月間イベントカレンダー、事業チラシなどを、区民利用施設や地域団体等に毎月出向いて配布し（28施設）タイムリーな情報共有・情報交換を進めました。顔の見える信頼関係から、今後のお互いの事業等についての相談へと発展しました。
- ・あらゆる地域活動に関する情報のハブとして、区民利用施設連携会議「ゆるとも西」参画施設による自主事業カレンダーを下半期から作成し、施設間で共有しました。お互いの事業を知り、効果的な周知活動や施設運営につながりました。（再掲）

3. 活動団体のマネジメント支援及びネットワーク支援事業

◆活動がステップアップする機会や情報を提供し、より活発な活動となるよう促進

地域人材ボランティア『西区街の名人・達人』や登録グループ・団体等などの活動がより活発になり、地域でも活躍の場が増えるよう、センターのあらゆる事業を通して情報を周知し、依頼先からの相談に丁寧に対応しました。

1）地域人材ボランティア事業『西区街の名人・達人』

①新規登録の促進

- ・2024（令和6年）年度の新規登録は11件、登録削除は3件で、年度末の登録件数は156件となりました。新規登録者のリストは下記の通りです。
- ・現在名簿を管理しているAccessのデータベースには、作業の上で複数の課題が顕在化しているため、kintoneへの移行の準備をすすめ、次年度整備の予定です。

No.	登録日	分野	分類	登録 No.	登録名
1	4/12	芸能	フラダンス	306	島本ますこ Hula Lei Maika'i
2	4/18	スポーツ・体操	フェルデンクライス	307	動きの博物館 狩野健二郎
3	4/21	音楽	端唄・俗曲・三味線	308	嬉氣利誠

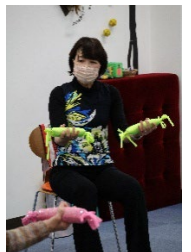
4	8/30	法律・経済	終活・遺言・相続	309	ソワレ行政法人
5	9/17	美容・健康	断捨離（R）	310	上田ゆみこ
6	11/1	音楽	ジャズ・ポップス	311	コーケンボー
7	11/25	スポーツ・体操	ボクシング	312	Sports Lab ATHLEO
8	12/16	法律・経済	終活・遺言・相続	313	あいりん司法書士・行政書士事務所
9	12/24	音楽	鍵盤ハーモニカと歌	314	ほづみ
10	1/10	音楽	沖縄歌三線・沖縄の文化・歴史	315	レディオこぐれ
11	2/14	法律・経済	相続手続き	316	田代貴祥

- ・施設連携会議「ゆるとも西」のつながりから、他の区民利用施設等で活動実績のある活動者がセンターへの新規登録につながりました。
- ・新規登録者は、ホームページの検索データベースを速やかに更新し、紹介記事をホームページに掲載しました。
- ・登録後すぐに、複数の方々がセンターや区民利用施設等で活動を始めました。

② 体験会の実施

- ・新規登録された方を、イベントカレンダーや広報紙で紹介し、活動を試行する場として「西区街の名人・達人体験会」を開催し、活動の場が広がるよう支援しました。
- ・体験会の開催の様子はYouTubeに公開し、今後の活動周知につなげました。

日付	イベント名	講師	参加人数
4/14 AM/PM	入門 春のアロマセラピー (希望者多数のため PM 増設)	Tree house 松井友美	AM:13名 PM:10名
7/28	親子で STEAM クラフト体験	STEAM 教育デザイナー西田俊章	親子 9 組
3/6	楽しく体づくり！玄米ダンベル体操	嶋本和子	6 名



③ 連携事業の実施

- ・センターの事業を周知し、新たな来館者を増やす機会として、過去に人気のあった名人・達人と連携事業を行い、活動を継続的にサポートするとともに、スキルアップにつなげました。

- ・アート分野の活動者と来館者がコラボレーションで作品を完成する「壁面こいのぼり」を実施し、みんなで一つの作品をつくる楽しさを共感する機会を作りました。
- ・アート分野の活動発表の場として「にしともアート展」を11月に開催し、多様な世代の多数の人々に、作品を通して活動を周知しました。（再掲）
- ・音楽分野の活動者が一堂に会するイベント「にしとも音楽祭」を初めて実施し、その後のコーディネートに数多くつながるきっかけとなりました。また、活動者自身が互いの演奏と技術を知り、高めあう機会になりました。出演者自らが運営に携わることで、連携が生まれ、その後の活動が発展しました。

西区街の名人・達人連携事業

日付	イベント名	講師・演奏者	参加人数
4/7	うたごえ広場	音楽ボランティア座にし	AM:14名/PM:21名
4/11 -5/6	壁面こいのぼり	高野圭子・村山陽美・田中碧・ 加藤友美・千村曜子	来館者による折り紙作品数 144個
5/6	母の日のプレゼントをつくろう	Flowerdesign♪陽 Haru	11名
6/30	にしとも音楽祭	登録音楽活動者12組（42名）	のべ153名
8/18	こども科学捜査体験	久保雅信	AM:子ども20名大人20名 PM:子ども20名大人20名
11/1-30	アート展	13組の活動者による合同展	アンケート回答者数168名
11/3	うたごえ広場	音楽ボランティア座にし	AM:15名/PM:18名
11/24	水墨画で描く干支カレンダー	吉田紅峯	9名
12/1	クリスマススワッグをつくろう	Flowerdesign♪陽 Haru	11名
12/1	クリスマスリースをつくろう	Flowerdesign♪陽 Haru	15名
1/26	にしとも音楽祭 mini	金子達郎・漆崎信二	19名
3/29	にしとも音楽祭 mini	ほづみ・クワトロ◇ピーナッツ	19名





④ 活動先のコーディネート

- ・地域人材ボランティアのコーディネート派遣相談の際は相手のニーズを丁寧に聴き、依頼先の施設や地域活動等が活性化するように、丁寧にコーディネートしました。
- ・活動先やコーディネート先に出向いて、依頼者の意見や感想を聞いたほか、参加者の様子も把握し、より良いコーディネートができるように、センター内で情報を共有しました。
- ・新たな依頼を増やすために、新しい施設や団体等に事業を周知したところ、定期的な依頼につながりました。
- ・急な依頼にも丁寧に対応し、できる限りコーディネートできるように努めました。

【コーディネート実績】

年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
申込件数	39 件	42 件	65 件
成立件数	28 件	37 件	56 件

⑤ 地域人材ボランティア「西区街の名人・達人」ガイドブックの活用

- ・初めてのコーディネート依頼時にはホームページやガイドブックを活用し、多様な活動者を紹介し、イベントや事業がより豊かになる提案をしました。
- ・追加登録者については、登録の都度、ホームページの更新やガイドブックの増補版を作成し、周知しました。

2）登録グループ・団体

①登録の呼びかけ

- ・にしとも広場を利用している登録団体の活動を、月間イベントカレンダーや情報紙等に掲載したことで、複数の団体において参加者が増え、活動がより活発化している状況を伝え、新たな登録につながりました。
- ・2024（令和6）年度の新規登録数は10件、削除件数は2件で、年度末の登録件数は176件でした。今年度登録した団体は下記の通りです。

No.	登録日	分野	登録番号	団体名
1	4/26	音楽	04-097	混声合唱団 みなとみらい LaRa
2	5/7	まちづくり	03-024	ドッグバディーズ
3	5/24	保健・医療・福祉	01-050	いきいきネット
4	6/7	こどもの健全育成	11-035	あすのち
5	6/27	社会教育	02-005	「シニア・ハマ・カレッジ」運営委員会
6	7/21	こどもの健全育成	11-036	どんぐり会
7	8/1	情報化社会	12-005	スマホサポーターWEST
8	11/7	人権擁護・平和	08-002	横浜ユネスコ協会
9	2/14	保健・医療・福祉	01-051	NPO 法人レスパイト・ケアサービス萌
10	3/27	情報化社会	12-006	にしすぎ PC 教室

②活動のステップアップと伴走支援

- ・来館時や活動現場での関わりの中で、団体活動の現状や必要なニーズを把握し、今後の活動がより潤滑で広がりをもつよう支援しました。
- ・登録団体からの相談をきっかけに、課題やニーズを把握し、団体のステップアップにつながる事業を、団体と共催で企画・実施しました。
また、他の区民利用施設等にもつなぎ、開催する地域のニーズに合わせた事業を企画・実施できるよう、コーディネートしました。
- ・昨年度の登録更新時に把握した課題等について、団体にアウトリーチやヒアリングを行い、ました。区関連部署、区民利用施設等にも情報を共有し、様々な視点や意見をもらい、団体の課題の解決、活動が前に進む関係性をつくりました。

③団体との連携事業で活動の効果を高める

- ・団体登録の活動目的を理解し、連携して事業を実施することで活動の効果を高めました。

団体名	開催日	内容	連携先等	参加者数等
読み語りグループ ぱれっと	7/27	にしとも☆こども広場 おはなし会	横浜中央図書館	6組 13名 (定員 10名)

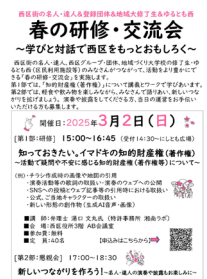
あすのち @浅間コミュニティハウス	8/23・24	夏休みの宿題を 終わらせよう	浅間コミュニティハウス・ 平沼小学校・浅間台小学校	8/23:生徒6名ボラ15名 8/24:生徒7名ボラ14名 タウンニュース掲載
スマホサポーター WEST	10月～自主化 毎月第2火曜	スマホ相談会	西区社会福祉協議会	10月～1月の合計 相談者17名
グリーフサポート よこはま	1/13	「グリーフ」 って何？	西区福祉保健センター・ 西区在宅医療相談室	参加者15名
読み語りグループ ぱれっと	12/22	にしとも☆こど も広場 おはなし会	横浜中央図書館	3組9名 (定員10名)
あすのち @浅間コミュニティハウス	12/28	冬休みの宿題を 終わらせよう	浅間コミュニティハウス・ 平沼小学校・浅間台小学校	生徒12名 ボラ12名
NPO法人 おれんじハウス	1/25	キッチンカー おれんじ食堂	藤棚地区センター・ 藤棚地域ケアプラザ・ 第4地区社協	藤棚地区センター:80食 第4地区会館:132食 合計70世帯

3) グループボックスの更新

年度末が更新時期に当たる為、次期の利用意向を確認し、利用団体等の更新作業を行いました。利用更新団体は21件、新規利用申込みは4件、利用更新無しは4件となりました。

4) 西区街の名人・達人及び登録団体、地域活動者の交流会

街の名人・達人及び登録団体に加え、地域づくり大学校修了生や区民利用施設等連携会議「ゆるとも西」に参画する施設関係者を交えた交流会を開催しました。日頃の活動に活かせる学びの場をつくり、対話をすすめながら、団体・施設間の連携も作りました。第1部の研修では、各参加者からの事前質問や相談に講師からすべて回答いただき、参加者どうしが学びあう貴重な機会になりました。



第1部：研修会（15:00～16:45）「知っておきたい。イマドキの知的財産権」

講師：弁理士 湯口文丸氏（特許事務所湘南ラボ） 参加者数：25名

第2部：懇親会（17:00～18:30）（名人・達人登録者による演奏・披露あり）

参加者数：20名

5) 西区民まつりへの参加

・11/10（日）に開催された西区民まつりに参加し、地域人材ボランティアや登録団体と連携して、おやこ休憩室、にしとも広場アート展、ヒーローショーを実施しました。

- ・戸部公園くらしの広場のブースにおいて、「西区今昔かるた」を販売し、YCV（横浜ケーブルビジョン）の取材にも対応しました。
- ・同時に区制 80 周年記念重ね押しスタンプラリーも開催していたため、幅広い年代の多くの方々が来館し、センターの周知につながりました。

時間・場所・参加者数	内容・連携先
11/10（日）10:00-15:00	西区民まつり in にしとも広場
10:00-16:00 @にしとも広場内 来場者数：141 人	おやこ休憩室 連携団体：子育て万歳サロン・よこはま布えほんぐるーぷ
期間内同時開催	にしとも広場アート展 名人達人登録アート活動者を紹介
12:00 - 12:30 @にしとも広場前屋外スペース 来場者数：62 人	ヒーローショー 名人達人登録：帷子戦士デザイナー
10:00-16:00 @戸部公園くらしの広場	「西区今昔かるた」販売 販売数 66 個



4. 地域支援事業

◆地域で活躍する人材の掘り起こしと伴走支援

- ・「西区地域づくり大学校」では、参加者の想いを実現するだけでなく、地域との繋がりや地域の中での活動を意識して、プログラムを構成しました。
- ・その他の事業においても、地域の中でのセンターの役割や地域との信頼関係の構築を意識して、事業に取り組みました。
- ・「何かをしたい」「何ができるだろうか」「活動したいがどうしたらよいかわからない」というような思いをもって来館する方々、また、地区社協や自治会町内会等で活動する方々、様々な方々の思いを汲み、活動につながる適切な情報提供と伴走支援、地域とのコーディネートを実施しました。

1) 地域づくりの人材を養成する講座

①「第 13 期 西区地域づくり大学校（以下、西区地域大）」の開催 （西区区政推進課との協働事業）

- ・本講座は、①講座後も続く仲間づくり、②少人数制の連続講座、③講座終了後もセンター

が継続的に受講生を応援することを主軸に、区政推進課と協働で開催しました。

（第1・3・4講は保育付き）

- ・住んでいる身近な地域に目を向け、地域とまずはつながることが大事と考え、テーマは「～住んでいるまちを知って、仲間と出会って～地域のなかでつながる輪」としました。
- ・第2講のフィールドワークでは、第6地区の各施設等を訪問し、活動者や施設担当者との対話を通して、視野を広げ、大きな学びの機会となりました。
- ・応募者は11名、2名が辞退で9名が受講、そのうち8名が修了しました。
（内訳：10代：1名、40代：2名、50代：2名、60代：3名、80代：1名）
- ・地域の居場所（子育てサロンあずまっこ）でボランティア活動を始めた方、地域のおまつり（第4地区みんなのまつり）に参画する方、センターで企画実施する方、これまでの自治会活動の改革に取り組む方等、色々な活動が芽生えています。
- ・修了後のフォローアップについては、区役所と連携し、修了生対象の補助金の活用も視野に、伴走支援とコーディネートを継続します。

〈アンケート〉より

- ・多くの人に自分の活動を伝え、フィードバックしていただけたことが良かったです。
- ・プランと一緒に考えることができ、その後のサポートも考えてくださったので、活動しやすい環境がありました。
- ・今まで事業プラン作りがなかなか出来ませんでしたので、すごく参考になりました。
- ・はじめは何をしたら良いか、悩みながら参加しましたが、みんなと話をする中で、やりたいことを決められて良かったです。
- ・西区をより知ることができました、実際に行ってお話を聞いたことが良かったです。

第13期西区地域づくり大学校

	日時・場所	テーマ・内容・講師
第1講	10/27（日）9:30-12:30 区役所 3階会議室	にしくについて知ろう 講義1：「西区について知ろう」西区区政推進課 川添課長 講義2：「地域のしくみ」西区社会福祉協議会 米岡会長
第2講	11/16（土）13:00-16:00 各見学先	聞いて、見て、地域を知ろう～見学・まちあるき～ 浅間台地域ケアプラザ⇒浅間台みはらし公園⇒ディアナ横濱⇒ 浅間3丁目自治会館⇒にこにこはうす⇒浅間コミュニティハウス
第3講	12/8（日）10:00-16:00 区役所 3階会議室	おもいを形に 活動プランをつくろう 講義：「地域とつながり、活動を楽しむために」 国立大学法人宇都宮大学地域デザイン科学部 石井大一郎教授 オブザーバー：第一地区 清水さん、第二地区 西山さん 第三地区 山本さん、第六地区 秋末さん

第4講 修了式	1/11（土）9:30-12:30 区役所3階会議室 修了生：8名	振り返り・活動の共有 菊地区長・川添課長／来賓：2名
------------	---	--------------------------------------



②「区制80周年記念“西区今昔かるた”関連事業」

- ・センターがかるたの販売を受託し、開館時間内に販売した他、かるた大会や区民まつり等のイベントにおいても出張販売しました。
- ・センター内の壁面にて、区民ホールと連動してかるた展を実施し、来館者等に周知しました。
- ・4回連続講座「西区今昔かるた伝道師養成講座」を区と協働で実施し、かるた大会やかるたを活用したイベント・講座等を開催する人材を育成しました。受講生：11名
- ・伝道師講座をきっかけに、区民利用施設、福祉施設、地域活動団体による、かるたを活用したイベント等の開催につながりました。



西区今昔かるた伝道師養成講座

	日程	内容
第1回	9/20 (金)	「語り合う」講師：にしくシティガイドグループ かるたの絵札を読み解き、西区の歴史や街の魅力について語り合いました
第2回	10/18 (金)	「活用する」講師：金沢区「カナかる！」企画・運営チーム 金沢区の事例から、かるたの活用とイベント実施のノウハウを学びました
第3回	11/15 (金)	「企画する」講師：瀬谷区青少年指導委員連絡協議会 かるた大会の企画と運営について具体的に学び、企画を考えました
第4回	1/18 (金)	「伝道師デビューかるた大会」@西前小学校コミュニティハウス かるた大会を実際に企画・運営しました。受講生にとって多くの学びとなると共に、参加者からは高い評価をいただきました。 参加者：小学生の部22名／中学生以上の部8名



2）地域のつながりづくり支援

①外国につながる子どもの学習支援教室「にしともるーむ」

- ・毎週火曜日の16時～17時に開催、2～5名の小学生が参加しました。
- ・3名のボランティアを中心に、子どもの気持ちに寄り添う学びの場を継続しました。
- ・近隣の専門学校に通う留学生がボランティアに参加しました。
- ・近隣小学校の国際教室と連携し、外国につながる子ども達の参加を呼び掛けました。
- ・公益財団法人横浜市国際交流協会（YOKE）、西区社会福祉協議会、こども青少年局、健康福祉局（ポジティブ・エイジング事業）と連携して事業の周知とボランティアを募集し、活動への参加につながりました。
- ・情報紙「にしとも広場」25号に特集記事として掲載し、事業について発信しました。

②地域のまつり等への参加

各地区の地域のまつりや「にしく名・達まつり」に出展し、「西区今昔かるた」やセンター事業を周知し、地域とのつながりを強化しました。

日程・名称・場所・来場者数	主催・出展内容
7/20 第五地区納涼まつり 西地区センター・西公会堂 来場者数：約1,000人	主催：第五地区社会福祉協議会 「西区今昔かるた」クイズ、カレンダー、チラシ、情報紙等の配布
10/6 みなとみらい あきまつり 高島中央公園 来場者数：約5,000人	主催：みなとみらいあきまつり実行委員会 「西区今昔かるた」クイズ、カレンダー、チラシ、情報紙等の配布
2/15 にこまちフォーラム 西公会堂	主催：西区役所 「西区今昔かるた」販売、カレンダー、チラシ、情報紙等の配布
2/22 にしく名・達まつり 藤棚地区センター 来場者数：約1,000人	主催：にしく名・達の会 「西区今昔かるた」クイズ、カレンダー、チラシ、情報紙等の配布

3/8 第4地区みんなのまつり 一本松小学校 来場者数：約800人	主催：第4地区社会福祉協議会 「西区今昔かるた」クイズ、カレンダー、チラシ、情報紙等の配布
---	--



3) 運営事業評議会の実施

- ・今年度より、区長から就任依頼を受けた専門家、学識経験者、地域代表等で構成される運営事業評議会を開催し、当センターの事業や役割について、また地域にある課題やニーズについてなど、意見交換する評議会を実施しました。
- ・評議員からはそれぞれの視点に基づいた意見やアドバイスをいただくことができました。今後のセンター運営において貴重な機会となりました。

〈ご意見より〉

- ・西区の地形や区民の生活圏を考慮し、センター内だけではなく、他の施設等と連携し、センターに足を運びにくい方々も参加できる事業を実施してほしい。
- ・地区社会福祉協議会との連携をすすめるうえで、地域のニーズと現状を理解し、一緒に活動ができる人材をつないでほしい。
- ・大学生や働く世代がボランティアに参加できる機会を創出し、多世代が活動に参加できるとよい。

5. 区と区民利用施設等との連携事業

◆地域情報の共有と連携で、地域力アップを目指しました

- ・今年度より、区民利用施設等を毎月訪問し、担当者と会話を重ねることで、顔の見える信頼関係を築くことができました。
- ・施設等が持つ課題等を把握し、センターから適切な情報を提供し、活動者をつなぐことができました。
- ・来年度は、共通の課題等について学びあい、連携を活かしたオール西区で取り組む体制をより強化していきます。

1）区民利用施設等との連携会議「ゆるとも西」の実施（参画施設・機関数：20）

- ・6/20、区民利用施設連携会議「ゆるとも西」を実施しました。各施設が注力している事業を紹介し、今後の情報発信と連携方法について話し合いました。

2）区民利用施設自主事業カレンダー

- ・下半期より「ゆるとも西」自主事業一覧カレンダーを作成し、参画施設等で共有しました。情報は適宜更新し、それぞれの施設が取り組んでいる事業を視覚化することで、効果的な情報発信と、今後の運営に活かせるように取り組みました。

3）センター事業における区内施設等との連携（共催事業）

①西区地域子育て支援拠点スマイル・ポートとの連携

- ・「みんなで！みちあそび」は未就学児とその保護者を対象に、安全にみちあそびができる環境を作り、親子が日常では不可能な遊びを体験するイベントとして開催しました。
- ・西前小学校の6年生や、さくらリビングから高校生がボランティアとして運営に携わりました。
- ・初めてセンターを利用するきっかけにもなり、センターを周知することができました。

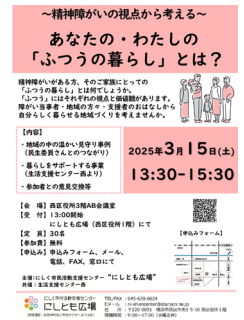
日時・場所・参加者数	内容・連携先
8/25（日） 10:00-12:00 にしとも広場、全面スペース、区役所1AB会議室 参加者：子ども41名・大人35名・ボランティア5名	みんなで！みちあそび in にしとも広場 共催：西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート 浅間台みはらしプレイパーク 協力：公益財団法人よこはまユース 西前小学校・子育て万歳サロン よこはま布えほんぐるーぷ



②生活支援センター西との連携

- ・精神障がいを持つ方とその家族が自分らしく暮らすために、地域ができることを参加者が一緒に考える講座を実施しました。民生委員、支援者、ご家族のお話を通して、それぞれの「ふつうの暮らし」について考えました。

日時・場所・参加者数	内容
3/15（土） 13:30-15:30 西区役所 3 階会議室 参加者数：11 名	あなたの・わたしの「ふつうの暮らし」とは ・参加者のアイスブレイク「にしく大好きすごろく」 ・ワーク「暮らしをひもとく」 ・地域の中の温かい見守り事例（民生委員からのお話） ・暮らしをサポートする事業について（生活支援センター西より）



〈アンケート〉より

- ・民生委員さんの活動について今日知りました。頼りになり、安心感が違うと思いました。
- ・お節介な人がいて、助かると思いました。自分らしく生きられると思いました。
- ・民生委員さんのお話がとても心に残りました。
- ・小さな西区でも、支援は色々整っている区だと思いました。上手に活用したいです。
- ・このような事業はもっと PR して皆に伝えることが大事だと思います。
- ・また、このような企画をお願いします。

4) 中央図書館との連携

- ・中央図書館サービス課と連携し、センターの事業テーマに沿った書籍を司書が選定する「こぼこ図書」を設置して地域の方の学びや楽しみの機会をつくりました。
- ・今年度は年間を通して実施し、毎月のテーマと開催事業にあわせて本を入れ替え、月間イベントカレンダーやホームページ、SNS での周知を図りました。
- ・7 月と 12 月には、登録団体「読み語りボランティア ぱれっと」と連携し、選書にあわせたテーマのおはなし会を実施しました。

開催月	関連するセンター事業	選書のテーマ
5 月	壁面こいのぼり	おやこあそび・折り紙
6 月	にしとも音楽祭	音楽・楽器・音楽の歴史
7 月	かるた大会	日本の祭り・世界の祭り
8 月	みちあそび	絵本特集
9 月	認知症講座	認知症理解・認知症予防
10 月	発達障がい講座	障がい理解・療育
11 月	_____	児童虐待防止・女性の権利
12 月	クリスマスおはなし会	世界のクリスマス
1 月	かるた大会	昔あそび・かるた・すごろく
2 月	_____	SDG s・脱炭素
3 月	精神障がい講座	精神障がい理解・家族について

【にしくとも☆こども広場】読み語りグループぱれっととの連携事業

日時・参加者数	おはなし会のテーマ
7/27（土）10:30-11:30 参加者数：6組13名（定員10名）	「夏祭り」のおはなし会＆身近な廃材で遊ぼう
12/22（日）10:30-11:30 参加者数：3組9名（定員10名）	「クリスマス」のおはなし会＆折り紙のコマで遊ぼう



5) 神奈川大学との連携

- ・西区と神奈川区の連携協定を踏まえ、市民活動分野での連携についての検討を継続しました。
- ・地域づくり大学校卒業生による「金の糸すごろく」を社会連携センターと協働で実施しました。10代の学生が自分探しをする機会になり、その後センターでも実施しました。
神奈川大学みなとみらいキャンパスでの実施：6/19（水）参加人数：5名
- ・社会連携センターに寄せられた学生からの依頼や相談に対応するために、地域活動者との対話の場をコーディネートしたほか、センターの活動と市民活動についてレクチャーしました。

6) 地域団体（自治会・町内会・地区社協等）との連携

- ・地域のまつりへの参加や、地域づくり大学校を通して、地域との信頼関係を構築しました。
- ・自治会・町内会などの地域団体とテーマ型の新たな活動団体との連携を図るために、活動現場をアウトリーチし、お互いのニーズとビジョンを知り、情報を交換し、可能な部分からコーディネートしました。

7) 「にしく見守りネットワーク」構築に向けた検討

- ・戸塚区における、区役所・地域ケアプラザ・民間事業者との見守りネットワークの西区内構築を検討するため、地域センター会議に戸塚区の事例を提案しました。
- ・今後も生活支援課、高齢障害支援課等関連部署との情報共有と連携をすすめます。

6. 施設運営管理

◆市民活動の玄関口として気軽に立ち寄れる施設を目指しました

- ・活動や暮らしがより豊かになる情報を、幅広く収集・発信し、活動に必要なスペースや機材の貸し出しを行うことで、活動者の自発的な活動を発信を応援しました。
- ・市民からのちょっとした問合せにも丁寧に対応し、問合せや相談を、今後のセンター利用や事業等につなげました。
- ・職員の福利厚生用コーヒーを来館者にも提供し、センターで一息つける環境を作り、その後の相談等につなげました。

1）ミーティングスペースの活用と機器の予約

- ・年間利用件数は 3,676 件（対前年比 133.8%）、利用人数は 8,542 人（対前年比 129.8%）、印刷機利用件数は 196 件（対前年比 115.3%）、昨年度を大きく上回りました。
- ・10/24～12/24 に開催された「西区区制 80 周年記念 重ね押しスタンプラリー」のスタンプ台を設置したことが利用者増の大きな要因でもあります。スタンプの為に来館された方々に、センターの事業等を案内し、その後の利用に数多くつながりました。
- ・ミーティングスペースを公平に使用できるよう、予約の管理・調整、日々の管理をシステムに入力し、スタッフ間で最新状況を共有し、問合せに対応しました。
- ・ミーティングスペースに利用予約のない時間帯は、登録がなくても、誰でも利用ができることを周知し、昼食や休憩、打合せや待ち合わせ、ちょっとした作業等の利用者が増えました。
- ・印刷機を入れ替え、活動に必要な環境を整えました。

2）市民活動に関わる情報と参加者同士の出会いのある場づくり

- ・幅広い分野の市民活動・地域活動に関わるチラシ等を集めてラックに配架し、手にとって確認できる様に設置しました。センターに立ち寄られた方、相談に来られた方には職員との会話を通して紹介できる機会を作りました。
- ・配架を希望される活動者が来館の際は、活動の内容等を丁寧に聴き、配架だけではなく、センターが協力できることを一緒に考えました。
- ・講座・イベント等では、参加者同士が安心して対話できる環境を作る為、少人数での対話を重視した事業の組み立てを意識して実施しました。

3）子育て世代が気軽に立ち寄れる場づくり

- ・キッズコーナーを設け、小さなお子様連れでも安心して立ち寄れる空間をつくり、子育て中の世代に向け、センターの利用を周知しました。
- ・みちあそびや区民まつり等、子ども向けのイベント等をきっかけに、その後の日常の利用につながりました。
- ・子どもの安全性に配慮し、ケガや誤飲につながるものがないか常時確認しました。

- ・ 講座・イベントは小さなお子さん連れにも配慮し、講師との事前打合せを丁寧に行いました。また、当日は参加者の様子を見て臨機応変に対応しました。

4) 施設のリスク管理

- ・ 毎日の運営、および月に1回、設備や機材を点検しました。異常等を発見した際は、速やかに使用停止や修理手配をしました。
- ・ チラシの配架・回収時に掲示物をチェックし、画鋲が取れていないか日々確認しました。
- ・ 事故発生時の対応と報告の徹底、ヒヤリハット事例を共有し、事故を未然に防げるよう、スタッフ研修を実施しました。
- ・ 「緊急時対応マニュアル」を見直し、更新しました。今後定期的に訓練を実施して、災害・事故発生時に適切に対応します。
- ・ 防災備蓄品を確認して、使用期限・賞味期限が切れたものは更新しました。
- ・ 備品の在庫状況の確認や保管庫の施錠、鍵の管理を日々、チェックリストにて徹底しました。

5) 文書管理

- ・ 施設運営要領に従って、様式等を用いて運営を行いました。実際の運用に合わせて、様式や要領の見直しを行いました。
- ・ 業務マニュアルを作成・更新して運用管理を徹底しました。
- ・ 個人情報を含む書類は施錠されたキャビネットに保管して、情報漏洩の防止を図りました。
- ・ 文書の保管期限を定期的に確認し、溶解処理による廃棄など適切な管理を行いました。

7. 職員配置体制・資質向上への取り組み

◆職員のスキルアップと職員間の情報共有を心がけました

来館時やアウトリーチ等、あらゆる場面での日頃の対話から、地域活動、市民活動に関わる活動者や施設関係者との信頼関係の構築と情報の受発信を心がけました。

1) 対話とアウトリーチで「生の声」を聴く

- ・ センターを利用する人々との日々の会話をきっかけに、背景や状況を察し、活動の伴走支援や見守りにつなげました。
- ・ 区内の市民活動や地域活動の現場を訪問し、活動を体感・共感し、活動の場に参加する多様な人々の「生の声」を聴き、中間支援に活かしました。
- ・ アウトリーチで得た情報を職員間で共有し、職員のスキルアップとセンターの有する情報をアップデートしました。

2）職員研修

職員全員が参加する研修を年6回実施しました。一部の研修は公開研修とし、地域の人々と一緒に学びあいました。

実施日・形態・参加者	内容・講師
4/11（木）非公開	個人情報保護研修 松本理事を中心に、法人の「個人情報保護規程」とセンターの「個人情報取扱マニュアル」を読み合わせ
6/25（火） 一般参加 12 名/スタッフ 6 名	傾聴と対話のワークショップ 講師：NPO 法人アーモンドコミュニティネットワーク代表 水谷裕子氏
9/15（日） 一般参加 3 名/スタッフ 2 名	認知症と共に歩む地域 講師：医療法人活人会 グループホーム横浜ゆうゆう 管理者 井上義臣氏
10/12（土） 一般参加 7 名/スタッフ 2 名	子どもの発達について話をしよう 講師：横浜市中部地域療育センター 地域支援課長 佐藤克也氏 横浜障害児を守る連絡協議会 副会長 八木澤恵奈氏
2/19（水） 一般参加 3 名/スタッフ 6 名	地域活動見学バスツアー（ヨコハマ市民まち普請事業の整備箇所 3 か所） コミュニティカフェ icocca（港南区）⇒美晴台サイン・マップ（港南区） ⇒おもいやりハウス（南区）
2/25（火） 一般参加 11 名/スタッフ 6 名	いざという時役立つ 救急救命 講師：一般財団法人エマージェンシー・メディカル・レスポnder財団 代表理事 河波弘晃氏
3/25（火） 非公開：スタッフ 6 名	不審者対応訓練 講師：戸部警察署 生活安全課

3）他区の支援センターとの情報交換と交流

ネットワーク会議

実施日	内容
第 1 回：7/30（火）業務都合により欠席	学生を市民活動等につなぐ①
第 2 回：1/20（月）	学生を市民活動等につなぐ②
第 3 回：2/14（金）	学生を市民活動等につなぐ③

4）外部研修への参加

参加研修（抜粋）

実施日	研修名	主催者
5/29・6/12・6/19	市民協働スタートアップ講座（全 3 回）	横浜市市民協働推進センター

7/24・10/9	講座参加者によるフィールドワーク（2回）	
8/9（金）	デザイン基礎研修	西区区政推進課広報相談係
9/4（水）	瀬谷区施設間ネットワーク会議 「知的財産権」特に著作権の取り組みについて	瀬谷区民活動センター
11/25（月）	西区社協会員全体研修「誰もが自分らしく暮らすために、多様性を認め合う」	西区社会福祉協議会
12/5（木）	よこはま地域福祉フォーラム	横浜市社会福祉協議会
2/2（日）	自治会町内会で使えるデジタルツール展示・相談会	横浜市市民局
2/12（水）	地域課題に取り組む講座デザイン	横浜市教育委員会

【各区市民活動支援センター機能強化研修】モデル区の一つとして、参加しました。

5/30（全区実施）、8/27、9/19、10/1（視察）、10/3（視察）、11/14、1/28、2/6
10/1には、当センター視察を受け入れ、事業について説明、参加者と意見交換しました。
3/11にアクションプランを提出しました。

5）職員間の情報共有

- ・全職員が集まる「はちとべ会議」を月2回実施し、事業進捗や相談対応の共有を行いました。
- ・Teamsによる職員間のリアルタイムでの情報共有を進めると共に、作成した資料等はOneDriveに保存して、即時性のある確認と共同作業を行いました。
- ・外部への広報は、掲示・配架・送付先リストを作成し、随時更新し、情報をタイムリーに提供しました。
- ・「事務取扱要領」を見直し、現状の運営に合わせた内容に変更しました。

8. 西区役所との協働

◆地域振興課及び関係課とのさらなる連携を進めました

センターが、「西区に暮らす人々、働く人々、訪れる人々が、西区に愛着を持ち、人と人のつながりを育み、力を活かしあう地域協働の総合拠点」となるべく、地域振興課を中心とした区役所および関係機関との協働をすすめました。必要な情報は適宜共有し、会議等にも参加しました。

1）協働契約による運営

- ・区役所と民間NPO法人が協働して事業に取り組むことにより、双方の強みを生かし、相乗効果が得られる運営を目指しました。
- ・定例会議を月1回実施するほか、日常的にお互いの事業やそれに関わる情報を共有しました。

- ・年度終了後に「協働に関する相互検証シート」をお互いに作成し、協働契約に基づくセンター運営に関してふりかえりを行いました。

2) 生涯学習講座での連携

- ・区制 80 周年記念「西区今昔かるた」を活用するための「伝道師養成講座」を区と協働で実施しました。*4-1)-②に記載

3) 西区役所関係課や関係機関との連携による事業の実施

西区地域自立支援協議会と関連事業

開催日	内容
6/13（木）第 1 回代表者会議	新年度体制について、事務局紹介、各部会の報告
11/14（木）第 2 回担当者会議	防災について 西区役所総務部総務課 危機管理・地域防災担当係長より講義、グループワーク
1/24（金）ぎのふえす （第 3 回西区技能披露フェスティバル）	主催：西 PEC 各事業所で培った技能や特技を紹介するイベント
3/13（木）第 2 回代表者会議	各部会における活動報告、情報共有

地域センター会議

開催日	内容
6/7（金）	区内の事例紹介、グループワーク、 クリアファイル&リーフレット作成について
9/6（金）	にこまちプランについて
11/22（金）	研修会：更生保護、保護司の活動について
2/13（木）	研修講師：又村あおい氏、次年度の予定について

ボランティア・市民活動部会と関連する会議

開催日	内容
5/27（月）第 1 回部会	今年度役員紹介、次回からの内容について
10/17（木）活動見学会	みんなのサロン（第 4 地区社会福祉協議会）
11/27（水）	子どもの居場所情報交換会
3/3（月）第 2 回部会	今年度の活動報告、次年度について

・地域振興課とセンターのみならず、区内のネットワークの基盤となる「西区地域自立支援協議会」や「地域センター会議」等のネットワーク、また、西区社会福祉協議会の「ボランティア・市民活動部会」等と連携・協働し、日頃の情報共有を活発化させ、さらに充実した事業の実現につなげました。